



祝入学 第57期生

ようこそ南高へ。これから我々と一緒に
君たちの高校生活を創っていきましょう。

4月9日(火)は美しく晴れた青空を背景に、満開の桜が咲き誇る春らしい日となりました。その佳きに日に、第57回の入学式が挙行されました。

井上耕史校長は式辞の中で「自分の掲げた目標に向かい、主体的に考え、行動する姿勢を養ってほしい」「切磋琢磨しながら、お互いに良さを認め合い、人格を

高め合うことのできる友人をつくってほしい」と新入生への期待を語られました。当日は五味義隆同窓会長、伊藤直純PTA会長からも祝辞をいただき、その言葉の一つ一つに新入生も背筋が伸びる思いであったことと思います。

式後、各クラスの記念写真撮影を前に、第57期・学年主任の仲條博紀先生からは「君たちは頑張って南高に入学してきた。今も頑張ろうと思っていると思う。でも君たちは何で頑張ろうと思うのか。何を頑張ろうと思うのか、それを考えてほしい。そ

の答えはひとり一人違うと思うが、その答えがある人はきっと頑張れると思う。」という言葉がありました。数々の祝福と周囲の期待を背にして新たに南高生としての生活が始まりました。1年生の皆さん、入学から3週間が過ぎようとしています。南高の歴史に皆さんの大きな一歩が刻まれましたが、南高に入学することがゴールではありません。自分の適性を探りながら、将来の進路を定め、その実現に向かって、これから始まる高校生活の一日一日を是非大切に過ごして下さい。

<第54期生の大学受験結果と第55期生へのエール>

東京大学2名・京都大学2名など国公立大学合格数137
早稲田大学9名・慶應義塾大学4名など私立大学合格数302

この3月に卒業した第54期生の大学合格実績がまとまりました。

第54期生の最終的な合格者数は国公立大学137、私立大学302、国公立短期大学3、各種専門学校13、就職1となりました。

現2年生が大学受験する時から、現在の「大学入試センター試験」がなくなり、新たに「大学入学共通テスト」に変わることや、私立大学の入学定員管理の厳格化の影響もあってか、全国的には浪人をさける安全志向の強い志願傾向が見られました。そのため、県内の国公立大学においても、志願者が前年比で100%を超えた大学が多く、卒業式後の3月中旬に行われる後期日程まで粘って受験した生徒も多かったです。現3年生は受験までもう1年ありません。今年先輩の受験の結果から学び、希望進路を実現できるように計画的に努力しましょう！



5月の進路関係行事

- 10(金) 進路希望調査①
- 11(土) 理社課外③
- 12(日) 全統記述模試③
- 16(木) 定期試験時間割発表
生徒懇談期間～22日
- 17(金) 進路講演会②③
- 31(金) 学部学科を調べる②
進研マーク模試③
～6/1(日)

6月の進路関係行事

- 1(土) 進研マーク模試③
駿台全国模試①②③
- 7(金) 学部学科を調べる②
大学出張講義③
- 14(金) オープンキャンパス作成②
キャリア教育①
推薦委員会(1)
- 18(火) 緑陽祭(体育祭)
- 21(金) 第55回緑陽祭
～22(土)
- 24(月) 代休
- 28(金) 進路講演会①
オープンキャンパス作成②

※○数字は学年を示します

<進路を考えるヒント>

NO IMAGE

左に示したのは中屋敷 均著『科学と非科学～その正体を探る』（講談社現代新書、2019）です。著者の中屋敷氏は現在、神戸大学大学院で農学研究科の教授（細胞機能構造学）をされている方です。今回紹介する本書は、その一部が今春実施された東京大学の入試において、国語の第一問・現代文（評論）の文章として出題された内容を含むものです。

科学が進歩し、どんなことでも科学的に説明できるように感じられる一方で、反対に科学で説明出来ないことは「非科学的」として、あたかも「異端」であるかのように退けられてしまう雰囲気があります。しかし、「科学」は本当にどんな現実的な問題にも答えられる絶対的なものなのでしょうか？本書は「科学的な正しさ」を疑い、「科学の存在意義」を問うサイエンスエッセイであり科学と非科学のはざま、言わば「光」と「闇」の間にある、「薄闇」に焦点を当てた本となっています。SSH 指定校として、科学に触れることの多い南高生にこそ、考えてほしい内容だと言えます。是

4月27日の日程

9:00～9:50	学級懇談会
10:10～11:10	学年 PTA 総会
11:30～12:30	全校 PTA 総会
12:30～13:30	昼 食
13:30～15:00	PTA 進路講演会

<保護者の皆様へ「PTA進路講演会」の御案内>

左掲のとおり、4月27日(土)はPTA学級懇談会・学年総会及び全校総会を実施いたします。午後には恒例のPTA進路講演会を開催いたします。今回は、高校生の子どもの持つ保護者の方々を対象に、「希望進路実現に向けて、保護者としてどう向き合うか」と題して株式会社ベネッセコーポレーションの 張 乙清 氏に講演を依頼しました。進路実現に向けて生徒は日々、学習に部活動に励んでいます。一方では多感な青春時代ゆえ、様々な悩みを抱えやすいこともあります。保護者としてそのような子どもにどう接すれば良いのかというヒントとなればと思います。当日はぜひ御参加くださいますよう御案内申し上げます。

<平成31年度 進路指導部>

末尾になりましたが、今年度の進路指導部を紹介します。

	氏名	正副担任	教科・科目	備考
主任	角田 恵一	——	英語	
副主任	小林 玲子	3-4副	国語	
第3学年	萩原 好一	3-2正	国語	
	伊良原 吉治	3-1正	世界史	
	水谷 繁	3-5正	化学	理数科副主任
第2学年	一瀬 大樹	2-5正	国語	
	石倉 みなみ	2-3正	英語	
第1学年	柴田 香枝	1-1正	国語	
	堀内 通之	1-5正	数学	理数科主任
事務	上田 百合子	——		

左の10名が今年度、進路指導部を担当します。

進路指導部の業務は各学年生徒の学業面での支援が主となりますが、生徒一人一人が**自分の適性を探りながら資質・能力を向上させ、希望する進路実現に向けて日々努力することができるよう**に全力で支援していきます。